

## —— 安心の提供と震災からの早期復興のために ——

いわき地域復興センターは、「いわき明星大学と東日本国際大学」が連携して、いわき地域に対する震災復興活動を行う拠点として設立されました。「福島県いわき地域の大学連携による震災復興プロジェクト」をテーマとして、両大学が持ついわき地域の魅力の再生に直結する専門性を提供することで、震災からの早期復興を目指します。

- 【事業の4つの柱】
- I 放射線・放射能測定及び軽減に関する研究事業
  - II 震災記録の保存事業
  - III 被災地の情報発信による観光まちづくり事業
  - IV 被災障がい者自立支援促進事業

## ～月1回開催 ミニ相談会のご紹介～

いわき地域復興センターでは、震災からの復興に向けた情報の提供、皆様からの疑問・質問にお答えする場を提供することを目的として、月1回ミニ相談会を実施しております。“ミニ”の名のとおり、小スペースの会場で実施することで、参加者と講師がざっくばらんに意見を交わせるような会としております。相談会のテーマは、放射能問題に関することから、震災記録の保存活動、各種団体の震災後の取り組みなど、多岐にわたっています。平成24年6月からスタートしてこれまで30回以上開催し、のべ300名以上の方に参加していただきました。今回は、これまでのミニ相談会のようすや今後の予定についてお知らせします。より多くの方にご参加いただければ幸いです。



通常は、センター事務所において、10名程度を定員として実施しています。リピーターの方も多く、質疑応答の時には参加者から多くの質問が寄せられています。



年に1、2回程度、参加者に手を動かして実験を行っていただく会を設けています。これまでは、放射線を測る実験や放射線を見ることのできる霧箱製作などを行いました。



年に1回程度、30名程度収容可能な少し広い会場において開催しています。外部から講師をお呼びしてお話いただくとともに、パネル資料等をお持ちいただき展示も行いました。

### ■ これまでのミニ相談会 開催テーマ一覧 ■

開催No.	テーマ	開催No.	テーマ
第1回	これって安全!? 放射能測定結果からいわきの食の安全について知ろう	第20回	知っておきたい放射線測定～サーベイメータで計った空間線量率の中身～
第2回	もっと知りたい! 内部被ばくと外部被ばくについて	第21回	いわき明星大学での放射能測定結果のまとめと考察 ～放射能濃度の変化と傾向について～
第3回	親子で学ぼう! 放射能ってなんだろう?	第22回	いわき市内の放射線量の変化と現状について
第4回	放射能を測定してみよう!!	第23回	震災から3年目の節目を迎えるまでの行政の取り組みについて ～農業と観光の回復の道のり～
第5回	知って得する! 放射能測定から見た作物栽培	第24回	(楮葉町の) 震災と原発事故発生からこれまでの取り組みと今後の復興について
第6回	身近な場所の除染方法について考えよう!	第25回	放射能問題の現状とこれからの福島について考えよう ～ “安全” を “安心” へつなげるために～
第7回	後世に残すべきいわきの震災記録について	第26回	夏休み実験教室～放射線を見てみよう～
第8回	正しく知ろう! 放射能と私たちの生活について	第27回	後世に残すべき浜通りの震災記録について～震災アーカイブの活動から考える～
第9回	いわき明星大学での取り組み～土壌からの放射性セシウム除去研究～	第28回	東日本大震災とボランティア活動 ～震災の経験から今後の防災活動の在り方について考える～
第10回	放射能測定結果から考える私たちの食生活について	第29回	東日本大震災を経験した人々の心のストレスケアについて
第11回	これまでの放射能測定結果とそこから分かってきたこと	第30回	生活環境の除染の基礎について知ろう!～住宅除染の方法とその効果について～
第12回	放射線を測定してみよう!!～放射線について知ろう～	第31回	学校給食の震災当時の状況からこんにちまでのより安心安全な提供について
第13回	知っておこう! 放射線の基礎知識～私たちの生活と放射線～	第32回	いわき明星大学からの最新情報～放射性セシウムの新たな除去法と 農作物への移行そして非破壊式放射能検査装置の紹介～
第14回	基礎から学ぶ放射線と放射能	第33回	押し寄せる津波から、どのように子供たちを守り抜いたのか ～防災訓練の重要性と実際の対応～
第15回	霧箱を作ってみよう!～放射線を見てみよう～		
第16回	放射性物質除去に関する私たちの取り組みと 化学的観点から見た放射線の影響について		
第17回	写真で見る旧警戒区域の様子～原子力災害からの復興と課題を考える～		
第18回	植物を使った除染の可能性～身近な場所の除染について考えよう～		
第19回	身近な場所の除染について知ろう!～除染の方法とその効果について～		

### 第34回ミニ相談会のご案内

日時：5月28日(木)10:30～12:00 場所：いわき明星大学 環境放射線測定室

テーマ：「非破壊式放射能検査装置について知ろう!

～新しい装置の検査方法と検査結果について～

講師：いわき明星大学 環境放射線測定室 信田 重成

※相談会中に自家消費作物の放射能検査を行います。希望される方は検体をご持参ください。



### 第35回ミニ相談会のご案内

日時：6月26日(金)10:30～12:00 場所：いわき地域復興センター

テーマ：「ハザードマップの必要性について知ろう

～防災・減災に備えるために～

講師：いわき市 行政経営部 危機管理室 危機管理課

課長補佐 間部 芳文 氏



ミニ相談会にご参加される場合は、ご予約が必要となります。参加希望の方は、いわき地域復興センター(☎0246-38-7132)まで。

## ■ アーカイブ写真展 展示物追加（富岡町）のご案内 ■

本事業のひとつ「震災記録の保存事業」では、東日本大震災および原発事故の記憶を後世に残すべく収集・保存している震災関連資料を用いて、いわき市立いわき総合図書館5階においてアーカイブ写真展を行っております。写真展では、福島県浜通り地域における地区ごとの写真パネルや震災による被災物等の展示を行っており、平成26年12月より現在まで継続して開催しております。4月からは富岡町の震災遺物の展示を追加しました。これらは、富岡町が原発事故の影響で避難区域に指定されているため震災発生から2年、3年、4年と経過した後に救出・保存されたものです。富岡町役場や住民の方のご協力により本展示での公開が実現できました。また、アーカイブ写真展は5月末までの開催予定でしたが、このたび6月10日(水)まで延長となりました。多くの方にご覧いただければ幸いです。



＜展示物および写真パネルのようす＞



＜富岡町の震災遺物 展示のようす＞

左から、地震発生時刻で止まっている富岡駅前ミチ美容室の時計、震災遺構として保存されることが決まった被災パトカーの一部(車体側面)を、現場の写真とともに展示しています。



左から、富岡第一中学校の体操着、被災パトカーに搭載されていた雨具、富岡地区安全運転管理協会長から津波で殉職された警部補へ宛てたメッセージを展示しています。



＜収集写真ファイルおよび閲覧席のようす＞

これまでに収集した浜通りの震災関連写真を各地区ごとにまとめた収集写真ファイル10冊および本事業で刊行した写真集2冊を自由に閲覧いただけます。

## ■ いわき市学校給食（一食全体）の放射能検査協力 ■

当センターでは、いわき市教育委員会さんより依頼を受け、配食された学校給食一食全体（主食・主菜・副菜・汁物・デザート・牛乳）の放射能検査に協力しております。1献立3膳分をまとめて1検体とし、いわき明星大学環境放射線測定室においてゲルマニウム半導体検出器で放射性セシウム134および137の放射能濃度を測定しています。検査頻度は平日毎日、検体数は昨年度（4月～6月のみ）は1日1検体であったのに対し、本年度は3検体に対応しています。いわき市全体で調理・提供されている給食は1日あたり最大14献立で、1献立あたりおよそ週1回測定しております。なお、いわき市では別途調理前の食材検査も実施しており、当センターでは白米・牛乳の検査にも協力しています。各放射能検査の詳細および検査結果はいわき市のホームページにてご覧いただけます。



平成27年度学校給食（一食全体）における放射性物質検査の結果について  
いわき市教育委員会事務局 学校支援課  
電話番号 0246-22-7545

- 検査機関 いわき明星大学 環境放射線測定室
- 検査方法 (1) ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリによる核種分析  
(2) 調理済の学校給食一食全体（主食・牛乳・デザート等も含む）を3食まとめて1検体として検査

No.	給食施設等名	検査対象とした 学校給食提供日	検査結果(Bq/kg)	
			放射性セシウム-134	放射性セシウム-137
			ND	ND
1	実業館 (小学校単立)	H27.A.27	<0.536>	<0.619>
2	実業館 (中学校単立)	H27.A.27	ND	ND
3	実業館 (小学校単立)	H27.A.28	<0.548>	<0.637>
4	実業館 (中学校単立)	H27.A.28	ND	ND
5	聖人館 (小学校単立)	H27.A.28	<0.525>	<0.618>
6	聖人館 (小学校単立)	H27.A.28	ND	ND
7	聖人館 (小学校単立)	H27.A.28	<0.542>	<0.612>

※ ND(Not Detected) ⇒ 不検出  
※ 検査結果の1内の数値は、検査機器の検出下限値を示しており、個々の給食の重量・性状・状態によって異なります。

＜学校給食一食全体検査 検体のようす＞＜学校給食一食全体検査結果いわき市HP掲載例＞  
検体は、ミキサー等で混へにされ届きます。平成24年度より随時公開されています。

いわき市ホームページ URL:  
<http://www.city.iwaki.fukushima.jp/>  
トップページ → 原子力災害関連情報 → 健康管理関連  
→ 学校給食等における放射性物質検査の結果について



文部科学省  
平成23年度大学等における  
地域復興のためのセンター的機能整備事業

### いわき地域復興センター

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾74-8  
Tel.0246-38-7132 Fax.0246-38-7134  
URL <http://www.revive-iwaki.net/>

